



## 初の「ゲームプログラミング」授業を開講、 ゲーム開発の最前線を女子大生へ。 椋山女学園大学、エイチームと連携し、 IT・ゲーム業界で活躍できる女性の育成を強化

椋山女学園大学（愛知県名古屋市、学長：黒田由彦）情報社会学部情報デザイン学科（2024年4月開設）は、2026年度前期より、同学科で初となる「ゲームプログラミング」講義（全15回）を開講します。本講義は、ゲームエンジン「Unity」を用いた実践的な教育であり、株式会社エイチームエンターテインメント（愛知県名古屋市、代表取締役社長：中内之公）の現役ゲームプログラマーを講師として迎えます。

初回授業は2026年4月7日（火）に開講し、全15回の講義では、3Dゲーム開発に必要な基礎技術を学び、オリジナルゲーム作品の制作に取り組みます。ゲーム業界で実際に用いられている技術に触れながら、創造的なものづくりの楽しさを体験し、それを“カタチ”にするプロセスを経験することで、将来のキャリアの可能性を広げる学びを提供します。

### ■ 「ゲームプログラミング」の概要

講義：ゲームプログラミング（全15回）

講師：株式会社エイチームエンターテインメント ゲームプログラマー

2013年、株式会社エイチーム（現：株式会社エイチームホールディングス）に新卒入社。ゲームプログラマーとして、様々な新規・運用タイトルに従事。現在は、新規タイトルを中心に研究開発に取り組んでいる。

初回授業日：4月7日（火）13：20～14：50

初回内容：オリエンテーション、Unityの基本操作

対象：情報社会学部情報デザイン学科3年の履修者（人数は現時点では未定）

場所：椋山女学園大学星が丘キャンパス 情報社会学部メディア棟 325教室

### ■ 情報デザイン学科について

データサイエンス、AI、情報デザイン、デジタルアーカイブなど、最先端の情報技術を横断的に学ぶ学科として2024年に開設。情報社会への理解を深め、実践的なプロジェクトを通して、情報をデザインし、新しい価値を生み出す力を養成します。2026年度は1期生が3年生となり、より専門的な学びを深めるための実践的な授業を行います。

## ■ 「ゲームプログラミング」の特徴

本講義では、ゲームエンジンの「Unity」やプログラミング用語「C#」、制作管理ツール「GitHub」を活用した開発に取り組み、描画・音響・物理演算・敵 AI 実装などゲーム開発の基礎から応用までを現場のプロから学びます。また、『自分の作ったものが動く楽しさ』を重視し、創造性・論理的思考・やり切る力を育成します。

## ■ 「ゲームプログラミング」開講の背景・狙い

情報デザイン学科のデータサイエンス領域では、「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「プログラミング応用」などの授業を通じて、基礎から応用まで体系的にプログラミングを学びます。プログラミングの応用分野の一つとして位置づけられている「ゲームプログラミング」では、より実践的な学びを提供するため、本学から株式会社エイチチームエンターテインメントへオファーを行い、専門性と最先端の実務経験を持つ講師による授業が実現しました。

これまで、情報デザイン学科（前身の文化情報学部）ではエンジニア職に就く卒業生は多い一方で、ゲーム業界への就職者は多くなく、今回をきっかけにゲーム業界に挑戦する学生が増えることを期待しています。

## ■ 第2回目以降の授業計画

- (第2回) 4月14日(火) GitHub Classroom による制作管理と提出環境の構築
- (第3回) 4月21日(火) プレイヤー移動と物理演算 (C#入門)
- (第4回) 4月28日(火) カメラ追従とプレイエリアの設定
- (第5回) 5月12日(火) インタラクションの実装 (アイテム収集)
- (第6回) 5月19日(火) ゲームUIとスコア管理
- (第7回) 5月26日(火) 敵AIの作成とゲームオーバー処理
- (第8回) 6月2日(火) オブジェクトの動的生成 (C#応用)
- (第9回) 6月9日(火) ステージ構築と動くギミック
- (第10回) 6月16日(火) ゲームループの完成
- (第11回) 6月23日(火) シーン管理とビルド設定
- (第12回) 6月30日(火) エフェクトによる演出強化
- (第13回) 7月7日(火) サウンド実装
- (第14回) 7月14日(火) 最終調整とテストプレイ
- (第15回) 7月21日(火) 成果発表

※初回以外の授業の取材をご希望される際は事前にお問い合わせください。

## 【本件に関するお問合せ先】

学校法人椋山女学園 広報課 (渡部・中島)

TEL : 052-781-5940 (直通)

メールアドレス : kouhou@sugiyama-u.ac.jp